



横浜で、
日本の秋みつけた。

フォトコンテスト入賞作品展

Exhibition of Photograph Works
Selected by the Contest
2019年10月5日(土)～12月11日(水)
会場：三溪記念館(三溪園内)

菊花展

Chrysanthemum Exhibition
2019年10月26日(土)～11月24日(日)

紅葉の古建築公開

— 聴秋閣・春草廬(重要文化財2棟)
Historic Buildings Surrounded by Autumn
Foliage Open to the Public,
Choshukaku, Shunsoro
2019年11月23日(土・祝)～12月8日(日)

創設者・原三溪 没後80周年

国指定名勝

三溪園

SANKEIEN GARDEN

横浜市中区本牧三之谷58-1 TEL045-621-0634・5 ※お問い合わせの際は、番号をお間違えないようご注意ください。
58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City
<https://www.sankeien.or.jp>



フォトコンテスト入賞作品展

Exhibition of Photograph Works Selected by the Contest

10月5日(土)～12月11日(水)

会場：三溪記念館

応募作品の中から選ばれた46点を展示します。
四季それぞれに表情を変える三溪園の魅力が作品をとおして味わえます。
【次回応募締切：2020年9月4日(必着)】

菊花展

Chrysanthemum Exhibition

10月26日(土)～11月24日(日) 9:00-16:00

共催：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会

日本の秋を代表する花、菊花約500点を展示。
大菊や懸崖・小菊盆栽などレパートリー豊かな世界が楽しめます。
特に江戸時代から各地で改良、伝えられてきた古典菊は珍しく、必見です。



苗の販売 期間：菊花展開催期間中 10:00-16:00
※売り切れの場合はご容赦ください。

菊の生け込み

横浜を拠点に活躍するフラワーデザイナー五十嵐道子氏が、山里の雰囲気漂う古民家「旧矢籠原家住宅(合掌造)」に菊花を生け込み、室内を美しく彩ります。

11月9日(土)～11月24日(日) 会場：外苑・旧矢籠原家住宅

生け込みパフォーマンス：11月9日(土)・10日(日) 各日14:30-15:30 会場：外苑・中央広場 ※雨天中止
協力：五十嵐道子 <https://kurumi.jpn.com>

菊花みどころトーク

種類や観賞のポイントなどを、初心者向けにわかりやすく解説します。【各回 15分ほど】

10月26日(土)・27日(日)・11月2日(土)・9日(土)・10日(日) (各日11:00- / 13:30- / 14:00- / 14:30-)
11月3日(日) (13:30- / 14:00- / 14:30-)

料金：無料(入園料は別途必要です) ※事前申込みは不要。ご希望の開始時間までに、直接会場にご集合ください。
会場：外苑・中央広場

紅葉の古建築公開

一聴秋閣・春草廬(重要文化財2棟)

Historic Buildings Surrounded by Autumn Foliage Open to the Public — Choshukaku, Shunsoro

11月23日(土・祝)～12月8日(日) 9:00-16:30

聴秋閣は二条城内にあったとされ、將軍家光が春日局に下賜したとされる楼閣建築。春草廬は織田信長の弟・有楽作といわれる三疊台目の茶室。いずれも樹々に囲まれ、紅葉の季節は一層美しく、瀟洒な佇まいをみせます。紅葉の中、風情たっぷりのひとときをお楽しみください。

重要文化財 聴秋閣 ちようしゅうかく

建築：江戸時代初期 元和9(1623)年
移築：大正11(1922)年

徳川家光が將軍宣下を受けるにあたり上洛した際、京都二条城内に建てられたと伝えられ、のちに乳母の春日局(かすがのつばね)が所持したといわれる。三つの屋根がパラスよくまとめられた外観の形状から、かつては「三笠閣(みかさかく)」の名で呼ばれ、内部にも変化に富んだデザインが見られる。特に注目されるのは正面入口の部分で、奥の畳の間より一段低くした床面には正方形の木製タイルが「字」に敷き詰められ、天井の形もそれと対応する意匠となっている。この空間は、池や川沿いの水辺から直接舟で乗り着ける「舟入の間」の趣向を採ったものともいわれ、この建物が庭園の一面を飾るために建てられたものであったことがうかがえる。



※紅葉の古建築公開時期には、聴秋閣奥の遊歩道も開放します。

重要文化財 春草廬 しゅんそうろ

建築：小間 江戸時代/広間 三溪園へ移築後、増設
移築：大正11(1922)年

京都宇治の三室戸寺金蔵院(みむろとじこんぞういん)にあった茶室で、古くは「九窓亭(くそうてい)」と呼ばれ、織田信長の弟・有楽(うらく)の作ともいわれるが、確証はない。三室戸寺にあった当時は、伏見城の遺構と伝えられる客殿(園内の月車殿)に付属する茶室であったが、原三溪は移築の際これを切り離し、あらたに広間を付け加えて春草廬とした。四畳に満たない小さな空間ながら、九つもの窓がリズムミカルに配されているのがこの茶室のみどころ。露地には、南北朝時代の禅僧・夢窓疎石(むそうそせき)が使用したと伝えられるつくばい(小間側)や、東大寺にあったといわれる伽藍石(礎石)が配される。



三溪園周辺「本牧」を巡ってみよう!

本牧かぼちゃ祭り スタンプラリー

10月26日(土)
10:00-15:00(受付終了)

※荒天の場合は、10月27日(日)に順延。

本牧かぼちゃまつりは、戦後米軍住宅があったころに行われていたハロウィンの行事にちなんで開催されるイベント。スタンプラリーのゴール地点となる三溪園では、スタンプカードを提示すると入園料が無料になるほか、楽しいプレゼントも待っています。



スタンプカードの提示で入園料が無料!

●受付・スタート地点：

イオン本牧店 イスパニア広場

●ゴール地点：旧矢籠原家住宅(合掌造り)

●参加費：¥300(スタンプカード代)

※仮装していることが条件です。
※ゴールの三溪園では、スタンプカードの提示により入園料が無料になります。

●お問合せ：

本牧通り商業活性化協議会
(NPO Y.S.C.C.)

TEL 045-621-8760

*受付：月～金曜日 9:00-17:00

三溪園

TEL 045-621-0635

三溪園ボランティアによる

秋の「一日庵」茶会

菓子付き

11月24日(日)

10:30-11:00 11:00-11:30

11:30-12:00 12:00-12:30

13:00-13:30 13:30-14:00

14:00-14:30

会場：横浜市指定有形文化財 白雲邸

定員：各回24名(先着順)

料金：¥500(菓子付き、入園料は別途必要です。)

※茶券は、当日10:00から会場販売します。
(定員となり次第終了)

三溪園ボランティアによる

紅葉の自然観察会

11月30日(土)・12月10日(火)

各日 10:30-11:30 13:30-14:30

集合：正門入口

料金：無料(入園料は別途必要です。)

定員：各回30名(先着順)

臨春閣

保存修理工事のお知らせ

重要文化財臨春閣は、30年振りとなる屋根の葺き替え工事を行っております。期間中は、仮屋根・足場等により、建物の観覧範囲が狭くなりますので、ご了承ください。

創設者・原三溪 没後80周年

国指定名勝

三溪園

SANKEIEN GARDEN

<https://www.sankeien.or.jp>
TEL 045-621-0634・5

- 休園日：12月29・30・31日
- 開園時間：9:00-17:00(入園は16:30まで)
※イベントにより、開園時間が変更となる場合があります。
- 入園料：大人 ¥700[¥600] 小学生・中学生 ¥200[¥100]
※[]内の料金は、10名以上の団体料金
※詳細はお問合せください
- 交通：JR根岸線根岸駅からバスで10分、「本牧」下車、徒歩10分 / 横浜駅東口からバスで35分、「三溪園入口」下車、徒歩5分 / 桜木町駅からバスで25分、「三溪園入口」下車、徒歩5分 / みなとみらい線元町・中華街駅4番出口の「山下町(タワー入口)」からバスで15分、「三溪園入口」下車、徒歩5分 / 横浜駅東口からふらり三溪園BUSで45分、「三溪園」(駐車場内)下車、すぐ(土・日曜日、祝日限定)

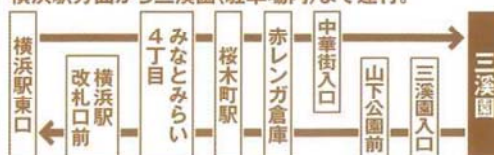
工事期間

2019年1月～2020年秋(予定)

ぶらり三溪園BUS

土・日・祝日 限定!

横浜駅方面から三溪園(駐車場内)まで運行。



三溪園の目の前へ!!

※他の三溪園方面のバスルートとは異なります。
詳しくは横浜市交通局へお問合せください。